



# 城北線安全報告書

(2023年)

## 1 ごあいさつ



城北線のキハ11形車両  
(全通30周年ヘッドマーク)

平素は、鉄道事業に対してご理解とご支援をいただき、感謝申し上げます。

2022年度も、大きな輸送障害もなく、安全で安定した輸送を提供することができ、3月には全線開業30周年を迎えました。

私たちは、開業以来「安全で信頼される輸送機関」として「絶対事故は起こさない」という強い決意のもと、地域交通の担い手として職責を果たしてまいりました。城北線の経営環境としては非常に厳しいものがありますが、今後も

鉄道事業の原点である、安全・安定輸送を最優先課題として取り組んでまいります。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、株式会社東海交通事業城北線における輸送の安全確保のための取り組みを紹介するものです。

代表取締役社長 白井 謙司

## 2 安全基本方針

安全を確保するための基本的な方針として安全綱領を定め、全社員が一丸となって、安全で安定した輸送の提供に向け取り組んでいます。

### 安全綱領

1. 安全は輸送業務の最大の使命である。
2. 安全の確保は規程の遵守及び執務の厳正から始まり不断の修練によって築きあげられる。
3. 確認の励行と連絡の徹底は安全の確保に最も大切である。
4. 安全の確保のためには職責をこえて一致協力しなければならない。
5. 疑わしいときは手落ちなく考えて最も安全と認められるみちを採らなければならない。

### 3 安全重点実施事項

運転事故防止及び労働災害防止に関する取り組みについては、年度毎に重点実施事項を定めています。2022年度は、以下のような重点実施事項を定め、着実に実施することにより、社員一丸となって運転事故防止・労働災害防止に取り組みました。

#### 2022年度の重点実施事項

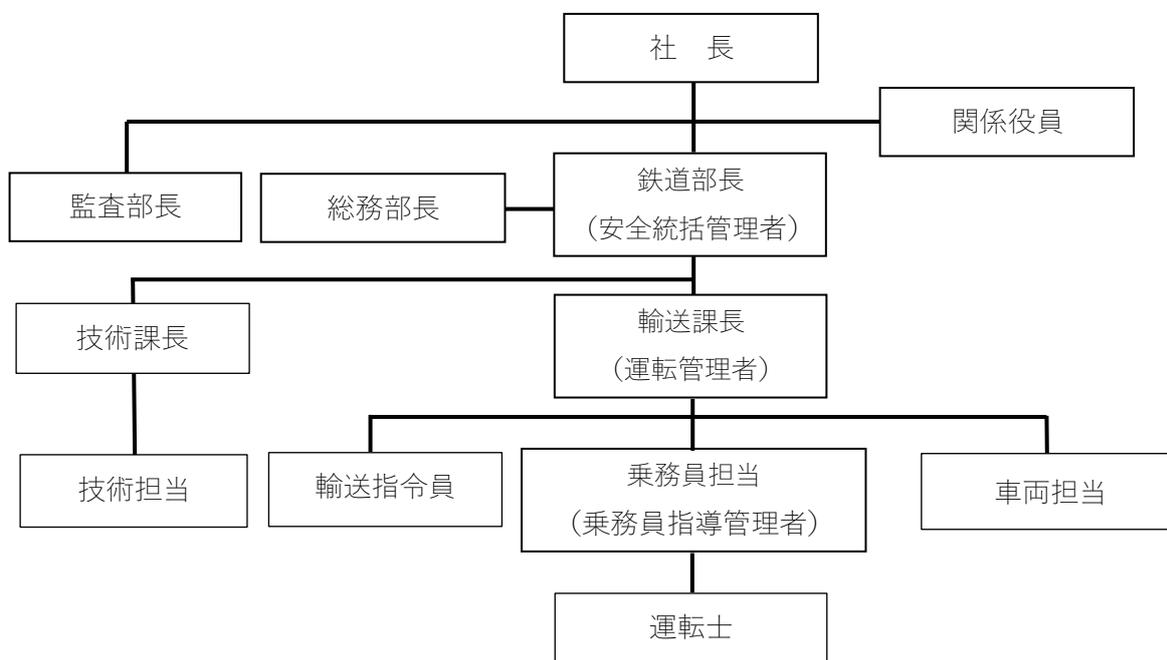
##### 運転事故防止

1. ルールの全員遵守
2. 確認の徹底
3. 教育・訓練の充実
4. リスクの排除
5. 作業前打合せの充実

##### 労働災害防止

1. 安全意識の高揚
2. 触車事故防止
3. 交通事故防止
4. 要注意箇所等における労働災害防止

## 4 安全管理体制



役 職	役割及び権限
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
鉄道部長 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
輸送課長 (運転管理者)	安全統括管理者の指揮の下、列車の運行、運転士の資質保持、車両に関する事項等を管理する。
乗務員担当 (乗務員指導管理者)	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持及び向上に関する事項を管理する。
技術課長	安全統括管理者の指揮の下、施設・電気に関する事項を管理する。
総務部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、要員に関する事項を掌理する。
監査部長	安全管理体制の状況について、内部監査を実施し、改善事項を社長、安全統括管理者に報告する。

## ☆鉄道安全推進会議

社長を含めた会社幹部と鉄道部の管理者を構成員とした鉄道安全推進会議を定期的（年4回）に開催しています。

事故防止対策、安全対策をさらに推進するため、管理部門と現場部門がコミュニケーションを行い、事故の未然防止と安全安定輸送の確保に向け取り組んでまいります。



鉄道安全推進会議

## ☆内部監査

運輸安全マネジメントに基づき、内部監査を2023年1月に、マネジメントレビューを2023年3月に実施しました。鉄道の使命である安全・安定輸送に関する指導事項はありませんでした。

## ☆会社幹部による訓示、現場巡回

社長はじめ会社幹部が安全輸送期間（ゴールデンウィーク、夏季、年末年始）前に社員に訓示を行い、現場巡回により安全管理状況を確認するなどして、輸送の安全確保に努めています。



会社幹部による訓示（安全輸送期間）

## 5 安全対策の実施状況

### ☆設備の維持更新

安全・安定輸送を鉄道輸送の最重要課題と位置付け、車両・地上設備の維持更新を図りました。2022年度は、約1億円の安全関連投資を行いました。

#### ・気動車の安全性向上策

全般検査に併せて、機関関係の部品の取替や、防護無線機のバックアップ用電源装置の取替などの車両改造工事を行い、キハ11形気動車の安全性向上を図りました。



キハ11形の全般検査

#### ・高架橋の点検修繕

高架橋を打音点検等により定期的に点検し、点検結果に基づいてコンクリートや排水管の修繕を行い、適切に維持管理を図っています。



高所作業車を使用した打音点検の様子

#### ・ドクター東海（軌道検測車）運転

ドクター東海（JR東海所属）による軌道検測を実施し、軌道設備等を適切に管理しています。



ドクター東海による検測

・風速監視装置の取替

新川橋りょうに設置している風速計の風速監視装置の取替を行いました。



風速監視装置

・電気転てつ機取替

勝川駅構内にある2つの電気転てつ機（ポイント）の取替を行いました。



電気転てつ機（ポイント）

## ☆教育・訓練

当社では、定期的に教育・訓練を実施し、知識・技能や異常時対応能力の向上に取り組んでいます。2022年度は、南海トラフ地震を想定した地震防災訓練、JR名古屋駅との訓練、車両分割併合訓練、レール折損時の応急処置訓練及び刃物対応訓練などを実施しました。



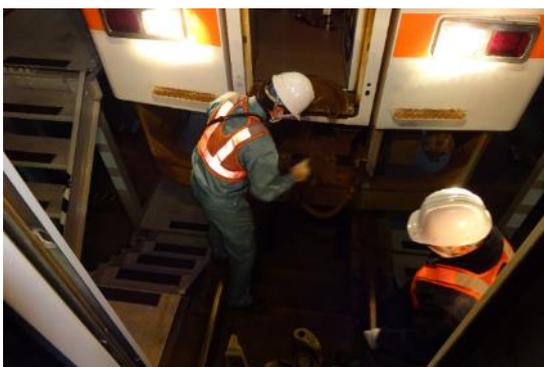
地震防災訓練（本部）



地震防災訓練（現場）



J R名古屋駅との訓練



車両分割併合訓練



レール折損時の応急処置訓練



刃物対応訓練

## ☆列車内の安全性向上

### ・車内防犯カメラの設置

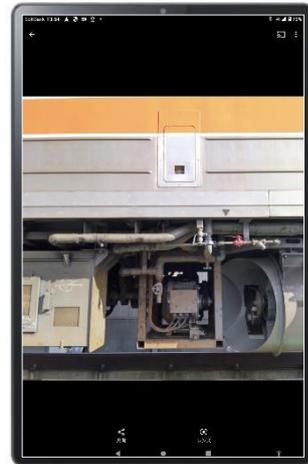
車内に防犯カメラを設置し、列車内の安全性向上を図りました。



## ☆異常時対応力の向上

### ・タブレットの導入

タブレットを導入し、運転時刻表の確認のほか、メール送受信機能、写真・動画機能、GPS機能により、異常時対応力の向上を図りました。



## 6 2022年度 事故等の発生状況

2022年度は、鉄道運転事故、輸送障害、インシデントいずれも発生はありませんでした。

### (1) 鉄道運転事故

発生はありませんでした。

### (2) 輸送障害

○沿線火災（発生日時 2022年5月16日（月）10時46分）

概況：勝川発枇杷島行きの列車が、枇杷島駅構内での沿線火災のため、枇杷島駅の手前で停車をしました。消防による消火活動が終了したのち、運転を再開しました。この影響により上下線合計2本の列車を運休としました。

○車両故障（発生日時 2022年8月31日（水）17時16分）

概況：枇杷島発勝川行きの列車が枇杷島駅発車後、ATS（自動列車停止装置）が動作して停止する事象が発生しました。指令の指示を受け運転を再開しましたが、次の列車（同じ車両）でも同地点で再度同様の動作となりました。このため、当該車両を勝川駅の検修線まで移動し、検修係による調査を行った結果、装置の不具合によりATSが動作したものと判明したため、処置を行いました。この影響により上下線合計6本の列車を運休としました。

○車両故障（発生日時 2023年1月25日（水）7時57分）

概況：勝川発枇杷島行きの列車が味美駅停車中、元空気ダメ圧力（車内の各装置を動かすための空気タンクの圧力）が上昇しないため、同駅にて動けなくなりました。車両点検を行ったのち、圧力上昇を待つて前途回送列車として運転再開しました。勝川駅の検修線にて車両点検を実施した結果、気温低下に伴い、除湿装置付近の機器内にある水分が凍結し、空気タンクに十分空気が供給できなかったことが判明したため、処置を行いました。この影響により上下線合計6本の列車を運休としました。

### (3) インシデント(事故の兆候)

発生はありませんでした。

## 7 「お客さま」との連携

安全で信頼される鉄道をつくるため、皆さまからお寄せいただいた情報は、直ちに状況を確認し、状況に応じて社員指導や必要な安全対策の検討を行ってまいります。

### ☆「鉄道テロ」対策

持ち主の分からない不審物を発見した場合は、お近くの乗務員または係員にお知らせいただくようポスター等で啓発活動を進め、お客さまのご協力を呼びかけております。



## 8 連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

連絡先 TEL 052-504-3001  
FAX 052-504-3006  
(月～金 9:00～17:00)